

**令和6年度 RIST シンポジウム**  
**～生成 AI・データサイエンスの動向と将来への期待～**  
**開催報告**

1. 日 時：令和6年10月31日（木）13：30～17：15
2. 会 場：熊本城ホール 大会議室 A1
3. 主 催：くまもと技術革新・融合研究会（RIST）、公益財団法人くまもと産業支援財団
4. 参加者：106名（産：44名、学：35名、官：27名）

5. プログラム：

■主催者挨拶 RIST 会長 熊本大学 大学院先端科学研究部 教授 松永 信智

■演 目

第1部

**基調講演**

「モデル探索あるいは方程式発見 ～未知の現象を紐解くデータ駆動的アプローチ～」

九州大学 情報基盤研究開発センター 教授 小野 謙二 氏

**講演**

「2030年代の日本の勝ち筋を見据えた国立研究開発法人の機能と役割」

国立研究開発法人理化学研究所

最先端研究プラットフォーム連携 (TRIP) 事業本部 TRIP 事業推進室

室長 福島 一成 氏

「熊本市における生成 AI 活用の取り組み」

熊本市役所 デジタル戦略課 杉本 健吾 氏

「医師の画像診断教育プログラムの開発におけるビッグデータ・AI ツールの活用」

株式会社ワイズ・リーディング ヘルステック & IT ソリューション

マネージャー 菅原 学 氏

**チュートリアル**

「人間の可能性を広げる AI」

熊本大学 大学院先端科学研究部 助教 木山 真人 氏

第2部 **パネルディスカッション**

「生成 AI、データサイエンスの課題と可能性」

モデレータ：熊本大学化血研寄付講座 特任教授 中村 振一郎 氏

(元三菱化学フェロー/元理化学研究所特別招聘研究員)

パネラー：株式会社理研イノベーション スタートアップ支援統括

半田 敬信 氏

小野 謙二 氏、福島 一成 氏、杉本 健吾 氏、

菅原 学 氏、木山 真人 氏

## 6. 特記事項

本年度の RIST シンポジウムでは、急速に発展している「生成 AI」に加え、データサイエンスの最新動向とその応用について取り上げ、産・学・官における取り組みをご講演頂くとともに、聴講者との意見交換を行う場として開催した。

第一部では、まず基調講演として九州大学の小野謙二教授より、得られたデータから未知の現象を明らかにするモデルの探索や方程式を発見する技術に関してご講演いただいた。続く 3 件の講演では、まず理化学研究所の福島一成室長より同所のご紹介と共に将来に向けた AI 研究の取り組みについてご説明頂いた。熊本市役所の杉本健吾氏からは、自治体 DX の一環として取り組んだ生成 AI の業務への利用とその効果についてご紹介いただいた。(株)ワイズ・リーディングの菅原学氏からは、ビッグデータ・AI ツールを画像診断に適用することで、医師の画像診断教育のためのプログラム開発を行った事例についてご紹介いただいた。また、チュートリアルとして熊本大学の木山真人助教より、現在の生成 AI と大規模言語モデル (LLM) の特徴や応用事例についてご説明頂いた。

第 2 部では、「生成 AI、データサイエンスの課題と可能性」と題し、熊本大学の中村振一郎特任教授をモデレータとして、(株)理研イノベーションの半田敬信氏を加えた講師陣 6 名によるパネルディスカッションを行い、会場から挙げられた質問や疑問について議論、解説を行った。



第 1 部 基調講演 小野 謙二 氏



第 1 部 講演 福島 一成 氏



杉本 健吾 氏



菅原 学 氏



木山 真人 氏



第2部 パネルディスカッション・会場の様子